



インフォ・マート

Info Mart

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol. 125



第18回シヨパン・コンクール優勝!

ブルース・リウ

「ピアノ」

▼ P1

世界が絶賛する現代最高のマエストロがミューズに登場
パーヴォ・ヤルヴィ「指揮」

▼ P3

文楽協会創立60周年。豪華2本立て

伝統の美人形浄瑠璃《文楽》

▼ P5

FAZIOLI

第18回シヨパン・コンクール優勝!

ブルース・リウ [ピアノ]

2021年のシヨパン国際コンクールで圧倒的な演奏を繰り広げ、1次予選からファイナルまで最高評価という衝撃の完全優勝を成し遂げたブルース・リウが今秋ミューズに初登場! 真の天才の輝くタッチにご期待ください。

シヨパン・コンクール 衝撃の完全優勝

コロナにより1年延期され2021年に開催されたシヨパン国際ピアノコンクールは、18ヶ国87名がワルシャワで開催された1次予選に出場した。日本からは反田恭平、小林愛実、角野隼人らが挑み大きな注目を集めた。1次予選から激戦が繰り広げられたが、中でもブルース・リウは豊かな詩情、正確無比なテクニックが際立っており関係者から高い評価を得ていた。コンクール終了後に公開された審査結果を見ると、リウに対する審査員のYES率(「次のステージでも聴きたいか」という投票)は何と100%。25点満点の採点でも最高得点の3300点をマークした。続く2次予選も3次予選もリウは驚異の

YES率100%をキープ、点数も常に1位という断トツの評価。他のコンテストを全く寄せ付けない衝撃的な「完全優勝」を成し遂げた。

優勝をきっかけに気の世界から注目を集めたが、記者会見では「ステージで安定した演奏を披露する気は毛頭ない。つねに新しく、創造性に満ちたものを生みだしたい。世界の聴衆には僕がシヨパン・コンクールの優勝者であることを忘れて欲しい。」と語るなど栄光などいっ吹く風。音楽に対する静かな情熱と真摯な姿勢を印象つけた。

名器ファツィオリと共に 大舞台での大胆な挑戦

コンクールが1年遅れて開催されたことはリウにとっては

はなかったから、少しリスクで攻めの選択だとは思っただけ……。心地いいものだけでなく、新しいものを受け入れていくということが好きなのかも。」との答え。大舞台でも臆することなく新しい表現を模索するチャレンジ精神が何とも彼らしい。この挑戦により「シヨパン・コンクールでファツィオリを弾いた初めての優勝者」という隠れた快挙も成し遂げたのだ。

新鮮な音楽を生み出す 柔軟な感性とイマジネーション

シヨパン・コンクールの優勝によって頂点に立ち、世界の注目を集めたブルース・リウだが、もともとピアノは趣味の1つだった。中国人の両親のもとパリに生まれ、4歳の時に

カナダへと移住。ピアノを本格的に始めたのは8歳の頃と少々遅めだ。ピアノ以外にも多くの趣味があり、水泳にもかなり本格的に取り組んでいたが、15歳の時にモントリオール交響楽団の開催するコンクールでグランプリを獲得した際に、ついに水泳をあきらめてピアニストになる決意をしたという。もし、この時の選択が違っていたらオリンピックの競泳でリウの活躍を観ていたかもしれない……。現在も巨匠タンタイ・ソンのもとで研鑽を積んでいるリウだが、音楽以外にもレーシングカート、チェス、映画、歴史……とその知的好奇心はとどまるところを知らない。もともと中国、フランス、カナダと様々な文化を背負って歩んできたリウにとって、音楽のみならず多様な趣味で広い視野を保つことは、柔軟性に富んだ音楽性やイマジネーション豊かな解釈につながっていると言えるのではないだろうか。



シヨパン・コンクールの出番直前に控室で身支度を整え精神を集中する



まさに変幻自在! すべてのステージでイマジネーション溢れる演奏を披露



本選の協奏曲では満員の客席が総立ちとなる圧倒的な名演奏で優勝を決めた ©Wojciech Grzedzinski / NIFC



2023年2~3月の日本リサイタルツアーにて。温泉で浴衣を着てくつろぐ ☺
香港にて大好きなブルース・リーの銅像とポーズをきめる 📸

(本人Instagramより)

好都合だったという。もともと、出場を決めたのは直前であったため、延期によりシヨパンの音楽にじっくり向き合うことができた。しかし、この期間シヨパン漬けになるのではなく、みずみずしい感性を保つために、シヨパン以外の作曲家、ラモーン、ラヴェル、リスト、バッハなどの勉強に時間を割いた、というのがいかにリウらしい。楽器選びもユニークだ。コンクールでは多くのコンテストが名器スタインウェイを弾いたのだが、リウはイタリアのファツィオリをチョイス。普段から親しんだ楽器を選んだのかと思いきや「コンクールでファツィオリを弾いたこと

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 パーヴォ・ヤルヴィ [指揮] ブルース・リウ [ピアノ]

10月19日(木) 18:15開場 19:00開演
アークホール

曲目◆
ベートーヴェン:《献堂式》序曲 op.124
シヨパン:ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11
ブラームス:交響曲第1番 八短調 op.68

料金◆
全席指定 **好評発売中**
S席:¥17,600 A席:¥15,400
B席:¥12,500 P席:¥9,000

メンバーズ特割
S席:¥15,000 A席:¥13,000
B席:¥11,000 P席:¥8,000

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。



衝撃のブラームスから7年
現代最高のマエストロがミューズに帰ってくる

パーヴォ・ヤルヴィ

Paavo Järvi, Conductor

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団 音楽監督

世界最高峰の指揮者と絶賛を浴びるパーヴォ・ヤルヴィが、2019年より音楽監督を務める名門チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団と共にミューズに登場！2016年ドイツ・カンマーフィルとの衝撃のブラームスから7年、真の巨匠への道を歩むヤルヴィが繰り広げる名演奏にご期待ください！



音楽への限りない 愛情が生み出す名演奏

パーヴォ・ヤルヴィの生み出す音楽は、常に知性と情熱のバランスが見事に保たれている。と言うとヤルヴィはバランスを重視する優等生的な指揮者と思われるかも知れないが、そうではない。2004年から芸術監督を務めるドイツ・カンマーフィルとの演奏を聴けば判る通り、ヤルヴィほど手垢にまみれた固定観念や古い習慣を捨て去り、新鮮な視線で作品を見つめ直し、妥協なくその本質に迫ろうとする指揮者は他にいない。

ベートーヴェンやブラームスを、フルトヴェングラーやカラヤンが天国でひっくり返るような速いテンポで演奏したり、作品の核となるフレーズや和音でタクトをぶん回して思いっきり強調したり：ヤルヴィの演奏は常に驚きと発見に満ちている。そんな型破りな表現が、単なるエキセントリックなこけおどしに終わらないのは、ヤルヴィが常に楽譜を明晰に解釈し、作品の裏に潜む背景や物語に深く想いを寄せているからに他ならない。音楽が鳴り響く一瞬一瞬は、スリリングさと目から鱗の発見の連続でウトウトする暇もないが、演奏が終わってみると、作品の核心をついた解釈に深く納得し、「知性と情熱のバランスのよい演奏だった」と、ますますこの指揮者が好きになってしまおうという訳だ。

ネーメの息子から 世界のパーヴォへ

もう一つヤルヴィの特徴は、共演した一流ソリストやオケがこぞその音楽性と人柄に魅了され「また共演したい。」と口を揃える点だ。聴衆のみならず、海千山千の同業者をも虜にしてしまふ、まさに現代最強の「ミュージシャンズミュージシャン」と言えるだろう。

もちろんヤルヴィも「朝一夕にこんな素晴らしい指揮者になった訳ではない。バインスタインやマックススルドルフのもとで勉強した下積み時代があり、また1980年まで不自由な社会主義体制の中で我慢強く音楽活動を行った父であり偉大な指揮者ネーメ・ヤルヴィの背中も大きかったに違いない。指揮活動の初期こそ「あ、ネーメの息子さんね。」という扱いだっただけで、2001年にシンシナティ響の

グラミー賞、グラモフォン賞 ディアパゾン賞

首席指揮者、2004年にドイツ・カンマーフィルの芸術監督に就任すると、鮮烈な演奏で瞬く間に世界から注目される存在となり、フランクフルト放送響、パリ管、N響の首席指揮者を歴任。ベルリン・フィルやウィーン・フィル、ニューヨーク・クワイアやコンセルトヘボウ管にも客演し旋風を巻き起こし、21世紀最高の指揮者の一人という評価を確立していく。

ライブ演奏で圧倒的な強みを発揮するヤルヴィだが、CDやDVDなどの収録にも積極的で、これまで歴任してきた世界超一流のオケと数々の名録音を残しているが、まず何と言つても外せないのがドイツ・カンマーフィルとの「ベートーヴェン・交響曲全集」だろう。2004年から続々とリリースされた同シリーズは音楽界に大きな衝撃を与え、毀誉褒

貶があつたにせよ21世紀の新しいベートーヴェンとして熱狂をもつて迎えられる。ドイツ・カンマーフィルとはさらにブラームスとシューマンの交響曲全集を完成させ、フランクフルト放送響とは11年の歳月をかけ「ブルックナー…交響曲全集」を完結させた。2019年に音楽監督に就任したチューリッヒ・トーンハレ管とはコロナ禍の困難の中「チャイコフスキー…交響曲全集」をリリースし、ブルックナーの交響曲第7番でも緻密な表現と高い集中度で絶賛を浴びた。ヤルヴィはこれまでに世界最高の音楽賞である「グラミー賞（シベリウス作品集）」をはじめ、イギリスで最も権威ある「グラモフォン賞」、フランスで最高の録音賞「ディアパゾン賞」など世界のあらゆる音楽賞を総なめにしている。アフターコロナの新時代を迎え、手兵トーンハレ管と繰り出す充実の演奏から目が離せない。



©Kaupo-Kikkas
偉大な父ネーメ（中央）、弟で指揮者のクリスチャン（左）と共に



音楽ファンに衝撃を与えたドイツ・カンマーフィルとのベートーヴェン「ベートーヴェン・交響曲全集」ソニーミュージック SICC-10103~7



©Gaëtan Bally
2019年に音楽監督に就任した名門チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団



CHECK

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団チャンネル

ヤルヴィの最新の演奏が視聴できる

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団
パーヴォ・ヤルヴィ [指揮]
ブルース・リウ [ピアノ]

10月19日(木) アークホール
18:15開場 19:00開演
※詳細はP2をご覧ください。



昼の部

よし
つね
せん
ぼん
ざくら
義経千本桜



©青木信二

人形浄瑠璃の三大名作の1つに数えられ、歴史上の人物や事件を描く「時代物」を代表する傑作。
『平家物語』を題材に、源平合戦のあと都落ちした義経や、生きながらえた平家の武将たちとそれに巻き込まれた者たちの悲劇を描く。「権の木の段」「すしやの段」は、都に残した妻子を想いつつ、戦場を去って那智の沖で命を絶ったといわれる優美な貴公子・維盛の物語。奈良の老舗「つるべすし弥助」を舞台に一家の悲劇が描かれる。見どころは愛しい妻子を犠牲にしまった権太の苦しみ。太夫（語り手）はゆっくりと語り始め、高ぶった感情を抑える間をとって、血を吐くほどにもだえ泣いたと、息遣いで表現する。人形の髪は乱れ、堪えていたものがせきをきったように、膝から崩れてゆく。人形遣いの表現にも注目したい。



歌川芳虎(生没年不詳)
大日本六十余将より「紀伊 三位中将維盛」

世界最高峰の人形劇

人形浄瑠璃

文楽

人形たちが生き生きと

描き出す

日本の美

物語を語る「太夫」、情景を音で表現する「三味線」、一体の人形を3人で遣う「人形」と、三位一体で醸し出す！日本が世界に誇る伝統芸能人形浄瑠璃「文楽」――。
不朽の名作 二本立てで贈る、文楽の真髄。

人形浄瑠璃 文楽

【解説・字幕付き】

2023年10月14日(土)

昼の部 12:30開場

13:00開演

夜の部 16:30開場

17:00開演

マーキーホール **好評発売中**

料金◆ 全席指定 ¥4,300

メンバーズ特割 ¥3,300

※未就学児の入場はご遠慮ください。

詳しくはこちら



歌川国貞(1786年-1865年)・歌川広重(1797年-1858年)
双筆五十三次 謎解き浮世絵叢書より「石部」

江戸時代の人々の生活や風俗、出来事を題材にした「世話物」を代表する人形浄瑠璃の人気作。

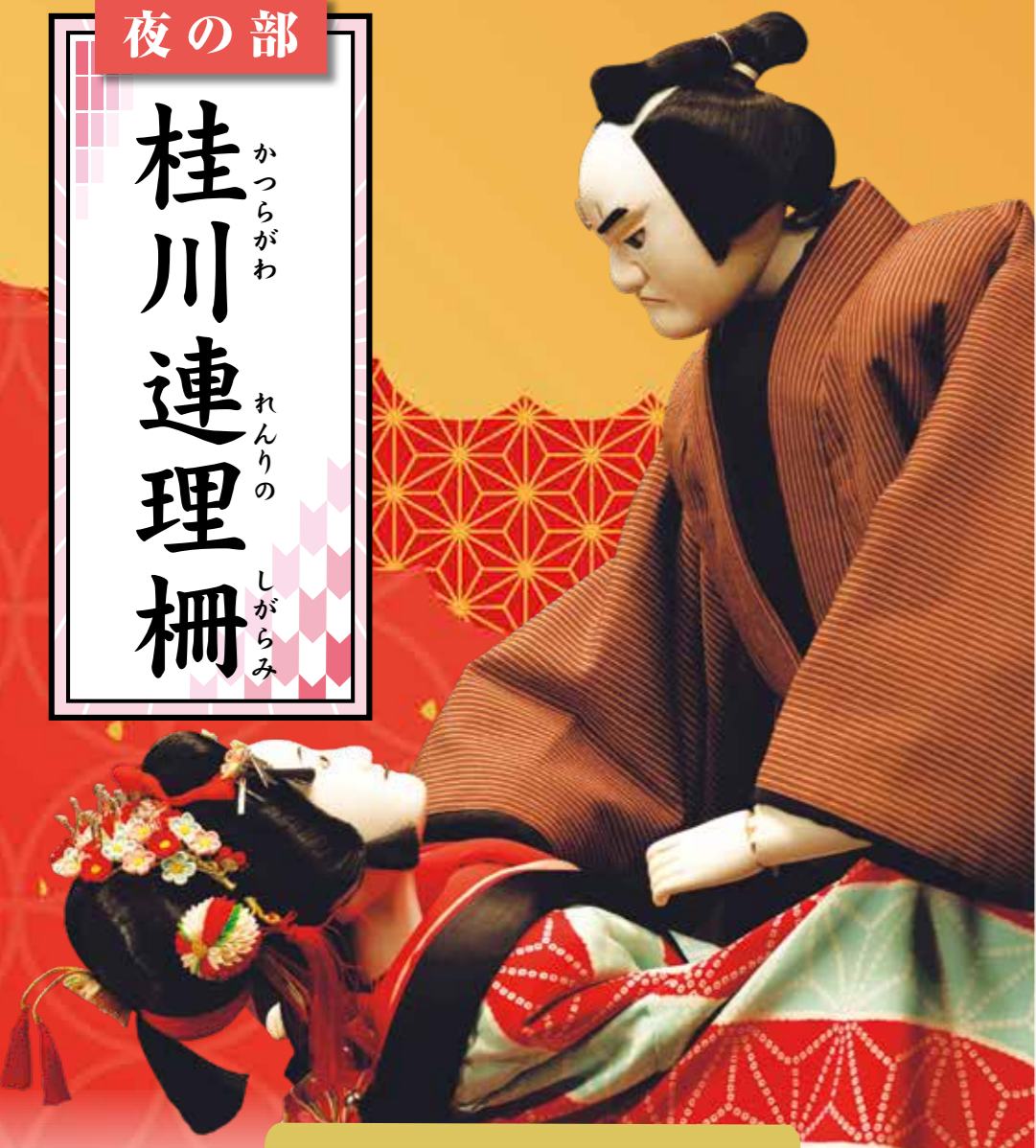
江戸中期に京都の桂川で若い娘と中年の男の死体が見つかった事件をもとに、その後すぐに人形浄瑠璃化し上演され、のちに宮園節の「桂川恋の柵」としても人気を博した。

帯屋の長右衛門は、隣家の年の離れた娘お半と旅先で、ふとしたはずみで関係を持ってしまふ。その一件を利用して、長右衛門を追い出そうとたくらむ人々と長右衛門をかばおうとする妻と養父。夫を信じて自分の気持ちを打ち明ける妻。長右衛門は事の重大さに「死んで詫げるしかない」と思い詰め、家出をしたお半の後を追って桂川へと急ぐ……

養父・妻・長右衛門それぞれの思いやりに満ちた心情の吐露が聞きどころ。妻が「長右衛門さん」と呼ぶときと、お半が「長右衛門さん」と呼びかけるとき。太夫が語る違いにも注目したい。

夜の部

かつらがわ
桂川連理柵
れんりの
しがらみ



ステージレポート

Stage Report

2月11日
～3月25日

2023
2/11
(土・祝)

ニューイヤー・オペラ・ガラ・コンサート

〈アークホール〉
出演／
富平安希子、小川里美、
高橋維〔ソプラノ〕
増田弥生〔メゾソプラノ〕
笛田博昭、与儀巧〔テノール〕
上江隼人、押川浩士〔バリトン〕
赤星裕子〔ピアノ〕
曲目／グノー：『ロメオとジュリエット』より「私は夢に生きたい」
プッチーニ：『蝶々婦人』より「ある晴れた日に」
『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」
ほか



12 清塚信也 47都道府県ツアー 2022-2023

〈アークホール〉
曲目／
ベートーヴェン：
ベートーヴェン・ファンタジー
Four Seasons Medley ほか



19 トン・コープマン [チェンバロ]

〈キューブホール〉
曲目／J.S. バッハ：
パルティータ第3番イ短調
BWV827
平均律クラヴィーア曲集
第2巻より前奏曲とフーガ
ほか



25 読売日本交響楽団 原田慶太楼 [指揮] 小林愛実 [ピアノ] 公開リハーサル

〈アークホール〉



26 読売日本交響楽団 原田慶太楼 [指揮] 小林愛実 [ピアノ]

〈アークホール〉
曲目／
ショパン：ピアノ協奏曲第1番
ホ短調 Op.11
マーラー：交響曲第1番 二短調「巨人」



27 避難訓練コンサート

〈アークホール〉
出演／ 遠藤真理〔チェロ〕 三浦友理枝〔ピアノ〕
曲目／ エルガー：愛のあいさつ
サン＝サーンス：白鳥
ドビュッシー：月の光〔ピアノソロ〕 ほか

3/4
(土)

三原麻里 [オルガン] 金管五重奏 MIYABI 雅 女神たちが紡ぐ風のハーモニー

〈アークホール〉
出演／三原麻里〔オルガン〕
MIYABI 雅〔金管五重奏〕
曲目／J.S. バッハ：前奏曲とフーガ 二短調 BWV539(三原)
ビゼー：ホルコンプ編 カルメン幻想曲(雅) ほか



10 トークイベント「素顔の武満徹」 武満徹ピアノ独奏曲 演奏会 関連企画

〈キューブホール〉
出演／ 北村朋幹
武満真樹



15 佐藤俊介 plays J.S. バッハ

〈キューブホール〉
曲目／
J.S. バッハ：
無伴奏ソナタ&パルティータ全曲
BWV1001～1006



21 北村朋幹 [ピアノ] 武満徹ピアノ独奏曲 演奏会

〈キューブホール〉
曲目／
武満徹：二つのレント
遮られない休息
ピアノ・ディスタンス ほか



25 2022年度オルガンスクール 修了記念コンサート

〈アークホール〉
出演／2022年度修了生20名
講師演奏／
三原麻里〔ホールオルガニスト〕
原田真佑〔ホールオルガニスト〕



写真撮影(市民カメラマン)／佐藤清一郎(2/11、3/15)、滝島利男(2/12)、由井一雄(2/19)、三平資郎(2/26、3/21)、中村仁(3/4)、津田資雄(3/25)

編集後記

紙面編集のとある朝、ミュージズへ出勤すると「ゴォーツ」という音とともに、公園の木々越しに浮かぶ「気球」が目に入りました。所沢航空記念公園では「熱気球」体験が出来るのをご存じでしょうか。月に1回程行われており、休日の朝にガスバーナーの着火音とともに楽しげな声がミュージズまで聞こえてきます。どうやら運がよければ富士山や東京スカイツリーも見ることが出来るとか…いつか私もふわりと揺れる気球に乗って所沢の風景を空から楽しんでみたいです♪(1)

チケットのお問合せは……ミュージズチケットカウンター

04-2998-7777

●窓口・電話予約10:00～18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約

所沢 ミューズ

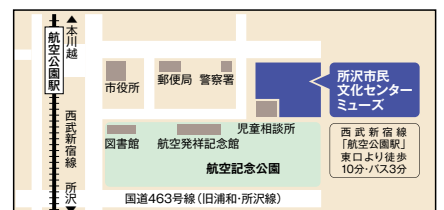
検索



クラシック・ポピュラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミュージズホームページでご確認ください。

<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



※公演情報は2023年4月24日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2023年7月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。